

先々月号の続きになる。利用航空会社はデルタ航空だ。羽田→LAX、オレンジカウンティ→ミネアポリス、ルイビル→DC、DC→羽田、インターはビジネスクラス、アメリカ国内はファーストクラスにした。

2年間貯めるに貯めた23万マイル

アメリカに行くときは必ず前日に東京に前泊する。理由は簡単だ。首都圏の方たちと違い、雪などの冬の気象条件と格闘する気力はサラサラないので。エコノミーだとアドオンと呼ばれ出発当日に日本国内各都市から羽田、成田に向かいインターに乗る料金は格安になっている。しかも当日に千歳が吹雪でもその後の羽田、成田などのインターは順延もしくは翌日出発扱いにしてくれるが、ビジネスクラスはアドオン対応のサービスをしてくれないので、最悪の場合、翌日以降の航空券を取り直すことになる。

今回は十勝・音更から1名、「そだねー」でおなじみの北見市・常呂から23歳が1名、22歳の漁師の息子が1名の計4名になった。

私と音更の方はビジネスクラス。若者2名はプレミアム・エコノミーの利用になった。ビジネスクラスは全行程で50万円、プレミアム・エ

コノミーは20万くらいだったと思う。農家でもビジネスクラスを利用できるのだから、農水の政策と予算配分のおかげである。ただ私は1万5500円だった。2年間貯めるに貯めた23万マイルとビジネスクラスを交換した。

当初はミネアポリス→ファーゴ間のチケットを用意していたが、途中の町で普及所と大学の勉強会があると関係者からメールが来たので、急きょレンタカーで移動することにした。

航空券のミネアポリス→ファーゴ間はそのままにしてカウンターで「キャンセルします」って言うかと思っただが、念のためデルタに電話した。

「キャンセル料は1万円になります。良かったですね、そのまま放置したらその後のフライトがキャンセルされましたよ……」

ビックリしたわ、飛ばないのにキャンセル料取るのか？

そーいえば違う航空会社だったけどその航空会社のオペレーターが「名

アメリカに行ってきた 2

Vol.122



宮井能雅

1958年3月、北海道長沼町生まれ。現在、同地で水田110haに麦50ha、大豆60haを作付けする。大学を1カ月で中退後、農業を継ぐ。子ども時代から米国の農業に憧れ、後年、オーストラリアや米国での農業体験を通して、その思いをさらに強めていく。機械施設のほとんどは、米国のジョンディア代理店から直接購入。また、遺伝子組み換え大豆の栽培を自ら明かしたことで、反対派の批判の対象になっている。

Illustration by Kazushige Akita

前を確認します、マイアさんですね」と聞かれたので「いいえミヤイです」と答えた。

オペレーターは「マイクのM、インディアのI、アルファアのA、インディアのIさんですね？」と言って来たので私は「マイクのM、インディアのI、ヤンキーのY、アルファアのA、インディアのIです」と早くで答えるとオペレーターは静かになった。

オレにも言わせる!

北海道長沼発 ヒール・ミヤイの憎まれ口通信

確かにビジネスクラスに乗る方で貧乏かつイングリッシュができない方はいないでしょうが、無意味に航空英語を持ち出されても通じる日本人はJASの有機認定程度の0.1%もないのだから、変な悦状態は勘弁していただきたい。

アメリカへのお土産は 北朝鮮のカレンダー!

本土上陸は2年ぶり、いろいろと濃い話もあり手ぶらでハロー、とはいかないので、何かしらのお土産を持参することになる。以前はテルモの血圧計、北海道の甘味処でロイズのチョコレートだったり、日系人には六花亭のあんものが喜ばれる。

さて今回はなにが良いかな……と悩みながらテレビを見ると、北朝鮮のミサイル関連で騒いでいる、と思った瞬間ひらめいた。「これだ! 北朝鮮のカレンダーにしよう!」。

しかし、どこで売っているんだ? 困ったときはネットで調べるのが一番だ。2016年? 古いカレンダーではさすがに興味がないので最後の手段を使うことにした。

国内に北朝鮮の大使館や領事館は存在しないので、情報を一番持っているあの北朝鮮総連に直接聞くことにした。ネットで調べるとしつかり札幌にも支部がある。

そこで農場の従業員に「総連に電話しろ」と命令した。真面目な従業員は私に言われるまま電話番号をスマホに打ち込み、マイクはスピーカーにして周りの者も聞くことができるようにできる芸達者である。

「ヨボセヨ (もしもし)」。従業員は「怖い! マジだ! イヤだ!」。

ビビって電話を切ってしまった。私は「使えん奴だな!」と罵倒した。彼は「じゃあ代わりに電話してみてくださいよ」と言うので、かけようかと思つたが、もう一度ネットで調べると2年前の北朝鮮のカレンダーを販売しているのは東京の旅行会社のようなところだ。記載されたところに電話した。

やはり「ヨボセヨ」と呼びかけてきた。一瞬ビビつたが、考えてみたらここは日本国ではないかと気を取りなおし、日本語で「すみませ〜ん、カレンダーのことでお伺いしたいのですが……」と話す先方も普通に日本語対応してくれた。「たまたま今年のカレンダーは2本あります

が、一本3000円です、どうしますか?」。私は「2本買います。1月31日に取りに行きます」と伝えた。アメリカに出発の前日には東京にいたので東日本橋とあるビルに向かった。10名くらいの小さな会社だった。自分の名前を伝え、北

朝鮮の風景画のカレンダーを2本、6000円を支払い、受け取った。普通の四季の変化を表現するカレンダーだ。ただよく見るとアルファベットでKim Jong-unと書かれている……。オフィスの壁を見ると戦車や飛行機のカレンダーもあった。在庫を聞いたが、カレンダーも松茸も経済制裁を受けているので渡航者が直接持つてくる分しかないとのこと。

対応してくれたのは中堅所の男性だったが、仕事中的キヤワイイ女性もいたので「北朝鮮に伝えてください。ミサイル撃つよりもホワイトハウスにカレンダーを1000本送つた方が威力ありますよ」と話しかけた。キヤワイイ娘は「きゃはは」と笑ってくれたが、隣にいた男性上司はムツとした顔をしていた。用も済み事務所を後にしてビルの外に出た。

アメリカ行き前の スーツケース修理

前泊する理由がもう一つあった。1月中旬に小麦生産者と名古屋に本社があるパン屋に行く機会があり、やはり東京に前泊した。その時に持参した小型のスーツケースのローラーがガタンガタンと異音がするので底部を見るとローラーのゴムが取れかかっていた。さーどーする、と

なった。このサムソナイトは10年ほど前にアメリカのアウトレットで購入したものだ。

北海道に帰ってから修理に出したらアメリカ行きに間に合わない可能性もある。そこでスマホでスーツケース修理と入れたら数件出てきた。どの店も最低でも2週間かかると言われた。ある店が、もしかしたらすぐ修理できるかもしれないというので持つて行った。

しかし、やはりサムソナイトなので1週間はかかると言われたが、代わりに北海道に帰る用に日本製のスーツケースを貸してくれることになった。引き取りはアメリカ出発の前日にもらった。1月31日に修理されたサムソナイトを受け取り、先ほどの旅行会社に出向きカレンダーをスーツケースに入れた。

アメリカ行きのエコノミーだとスーツケースは1個で23kgまでの航空会社が多いと思うが、ビジネスクラスだと3個でそれぞれ30kgまで持ち込み可能になる。さすがに3個を持つて移動したことはないが、大きなスーツケースに今回修理したサムソナイトを入れて、現地で購入した物を入れ、帰りは2個になることが多い。さー来月号は金髪・ブルーアイが待つアメリカ本土に上陸することになる。